

「第10回 史跡及び名勝 飛鳥京跡苑池保存整備・活用検討委員会」及び
「第12回 飛鳥宮跡活用検討委員会」 開催概要

第10回 史跡及び名勝 飛鳥京跡苑池保存整備・活用検討委員会の検討・報告事項と委員意見

○発掘調査の進捗

今後のスケジュールとして発掘が計画より遅れる旨を事務局より報告。

(委員意見)

- ・史跡整備のスケジュールに影響が出ないように、調整をお願いしたい。

(結果)

- ・発掘と整備のスケジュール調整を行う。

○苑池内南池の遺構展示

工法検討の進捗状況と、遺構への影響回避のための構造変更の可能性について、事務局より報告。

(委員意見)

- ・遺構の影響が無いような工法を、引き続き検討いただきたい。

(結果)

- ・遺構に影響のない工法案を検討する。

○苑池全体の導線計画と南池周辺の施設配置

検討案を事務局より説明。

(委員意見)

- ・北池や南池の中島に来訪者が入れるような、施設検討をお願いしたい。
- ・田畦が下の遺構に関係する場合もある。導線は地形を踏襲したほうが良い。
- ・VR技術等、ソフト活用も視野に入れ、施設の検討していただきたい。

(結果)

- 委員意見を踏まえた施設配置を検討する。

○北池遺構の展示

遺構平面表示の検討案を事務局より説明。

(委員意見)

- ・流水施設の発見により、苑池内の北池の位置づけが以前より変化している。
- ・北池の展示方法については、今後時間をかけて検討すべき。
- ・北池と南池は分離して考え、まず南池の整備を進めるべき。

(結果)

- ・委員意見を踏まえ、北池の展示方法の検討を続ける。

第12回 飛鳥宮跡活用検討委員会の検討・報告事項と委員意見

飛鳥宮跡の保存活用計画における、第4章「現状と課題」、第5章「基本方針」、第6～8章「保存」「活用」「整備」について、審議が行われ、以下の結果となった。

○第4章「現状と課題」

飛鳥宮跡の現状について、「本質的価値を構成する諸要素以外の要素」として、道路、電信柱等の地形地物の把握を実施、表にまとめ、説明。

(委員意見)

- ・現状把握にて、「田畑」が「本質的価値を構成する諸要素以外の要素」とまとめられていたが、飛鳥の景観を構成する主たる要素であることを考えると、「本質的価値に密接に関わる諸要素」に位置づけられるのでは。

(結果)

- ・田畑の取扱を見直し、文章修正を行う。

○第5章「基本方針」

事務局より、「古代国家の中核であった遺跡を確実に保存し、現代の農村環境との調和を図りながら、臨場感の高い飛鳥時代の宮殿空間を表現、その価値を広く内外に情報発信することで、後世へと継承していく」という目標を説明。

(委員意見)

- ・活用を前面に出す基本方針の書きぶりとするべき。
- ・目標で述べられる「宮殿空間」の定義を明確にすべき。
- ・目標で述べられる「臨場感」とは何かの説明を記載すべき。

(結果)

- ・委員意見を踏まえ、文章修正を行う。

○第6章「保存(保存管理)」

確実に遺構の保存を行うため方針について、事務局にて史跡整備を見据え、南部を整備中心に、北部を景観重視とするエリア分けを作成し、説明。

(委員意見)

- ・一つの図面で示すエリアが多い。外郭を含めた全体のエリア分け、計画区域内のエリア分けを二つの図面で説明すべき。また、計画区域内のエリアを細分化しすぎないように。
- ・エリア分けの根拠が希薄。なぜこのエリアになったのかの説明を記載すべき。

(結果)

- ・委員意見を踏まえ方針を見直し、エリア分けの図面及び文章の修正を行う。

○第7章「活用」第8章「整備」

臨場感を感じるための宮殿空間の可視化とソフト事業の展開、情報発信のためのガイダンス機能やイベント開催機能の充実について、事務局案を説明。

(結果)

- ・第5章「基本方針」、第6章「保存」の内容変更に合わせて、文章修正を行う。

1. 日 時：令和2年2月18日(火) 10時30分～14時30分

第一部 10:30～12:30 史跡及び名勝 飛鳥京跡苑池保存整備・活用検討委員会

第二部 13:30～15:30 飛鳥宮跡活用検討委員会

2. 場 所：平城宮跡歴史公園平城宮いざない館 多目的室

3. 出席者：

飛鳥京跡苑池 田辺、小野、佐野、森川、仲の各委員

飛鳥宮跡 田辺、黒田、櫻井、森川、寺西、松村、増井の各委員

オブザーバー 文化庁、国営飛鳥歴史公園事務所

関係者 南部東部振興課、文化資源活用課、明日香村

事務局 公園緑地課、文化財保存課